

ORACLE WEBLOGIC SERVER 11g ENTERPRISE EDITION

おもな機能と利点

業界をリードする Java
アプリケーション・サーバー

機能

- 高性能のクラスタリングとフェイルオーバー機能
- Oracle Fusion Middleware Real Operations Insight
- Oracle GridLink for Oracle Real Applications Clusters (Oracle RAC)
- FastSwap の継続的な開発
- Oracle TopLink の ORM の永続性
- Oracle JDeveloper および Eclipse ツール
- Oracle Enterprise Grid Messaging - JMS メッセージ・システムと Oracle Advanced Queuing (Oracle AQ)

利点

- エンドユーザーは常時接続のアプリケーションとサービスを使用
- 包括的で、低オーバーヘッドのアプリケーション監視と詳細な診断
- Oracle RAC と統合し、最高レベルのアプリケーション可用性を実現
- システム再起動のために時間を浪費しない、高速なアプリケーション開発
- データ・アクセスの業界標準
- 総合的なツールが開発を簡素化し、新しいアプリケーションの配布を加速
- 高速で、信頼性に優れた組み込みの Oracle WebLogic Server メッセージを企業全体で標準化

Oracle WebLogic Server Enterprise Edition は、最新のデータセンターに最適のアプリケーション・サーバーです。64 ビットのアドレス可能なメモリ、マルチコア・コンピューティング・システム、高速ネットワークなど、最新のハードウェア・アーキテクチャを最大限に活用します。Oracle WebLogic Server Enterprise Edition には、Oracle WebLogic Server Standard Edition のすべての機能および利点、実証済みのクラスタリング・テクノロジー、マルチドメイン管理、および診断ツールが含まれます。企業の IT チームは、可用性に優れ、高速で管理しやすい Oracle WebLogic Server のインスタンスのプール上で、アプリケーションとサービスを統合および標準化し、即応性、効率およびビジネスの連携を向上できるようになりました。

製品概要

アプリケーション障害やサービスの中断を予期せず発生させてはならない場合、可用性が高く、優れた監視および管理機能を備えた Oracle WebLogic Server Enterprise Edition が最適な選択といえます。Oracle WebLogic Server Enterprise Edition は、Oracle WebLogic Server Standard Edition に加えて高度に調整されたサーバー・クラスタリングを備えているので、システムの負荷が変動しても IT インフラストラクチャを稼働し続けることができます。優れたアプリケーションのパフォーマンスを実現するために、ランタイム・パフォーマンスに影響を与えずに、本番システムでほかに例がないほどの詳細な診断機能を使用できます。このような Oracle WebLogic Server Enterprise Edition の機能は、最小の費用で最大のアップタイムを提供する最新のデータセンターをサポートするために設計されています。

高可用性

簡単な構成変更、差分更新 (FastSwap)、およびローリング・アップグレードは、システムの変更中でも、システムを使用可能状態に保つ機能の一部です。高度でありながら簡単に管理できることが、Oracle WebLogic Server Enterprise Edition の別の側面です。Oracle WebLogic Server の複数インスタンスのクラスタリングを実行すると、サーバーが突然オフラインになった場合に多くの機能を起動できます。サーバーの状態が悪化した場合には、サーバー全体の移行、自動サービス移行、トランザクション・リカバリ・サービスなどの機能が呼び出されます。組み込みのソフトウェア・ロードバランシング、サーバーの自己監視、およびオーバーロードの保護機能により、障害を完全に回避できます。必要に応じて、Oracle WebLogic Server Enterprise Edition は、Metropolitan Area Networks (MAN) および Wide Area Networks (WAN) でフェイルオーバーをおこない、障害時リカバリ手順をサポートできます。また、アクティブ-アクティブのアプリケーション配置をサポートする Oracle GridLink for Oracle Real Application Clusters には、Oracle RAC を Oracle WebLogic Server Enterprise Edition と統合するための高度な新機能が追加されています。アクティブ-アクティブの配置により、最高レベルのアプリケーション可用性が提供されます。

企業全体のシステム・メッセージ

システム間の信頼性の高いメッセージングは、アプリケーションや最新のデータセンターにとって重要です。Oracle Enterprise Grid Messaging は、Java Message Service (JMS) 標準に基づいているので、C#/NET のような Java 以外のクライアントに対しても高い性能と信頼性、また高度な接続性も備えています。高度な機能の中には、JMS 関連のサービスを障害が発生したサーバーから正常なサーバーへ自動移行する機能、ストア・アンド・フォワードによる信頼性の高いメッセージング、およびディスクにメッセージを永続化する際の卓越したパフォーマンスが含まれます。さらに、JMS は、Oracle Streams Advanced Queuing (Oracle AQ) を介して、オラクルのデータベースに統合されたメッセージングとやり取りできるようになりました。Oracle RAC と組み合わせた場合、Oracle AQ は、さらに高いレベルのメッセージング性能を提供します。

監視と管理

Oracle WebLogic Server 管理コンソールは、重要な運用管理の開始ポイントです。Oracle WebLogic Server の全機能へのアクセスを簡素化し、人為的な構成エラーを防止する組込みのインテリジェント機能を提供します。グラフィカル・ユーザー・インタフェース (GUI) ツールを使用しないユーザーは、Oracle WebLogic Scripting Tool (Oracle WLST) を使用して、Oracle WebLogic Server 上でコマンドライン制御を使用できます。Oracle Fusion Middleware Real Operations Insight は管理コンソールを補強し、Oracle WebLogic Server Enterprise Edition をさらに詳細に監視および管理します。付属している Enterprise Manager Diagnostics Pack for Oracle Middleware は、可用性とパフォーマンスを改善して、低オーバーヘッドでの Java アプリケーションの詳細な診断を実現します。管理者は、アプリケーションのパフォーマンスを監視して事前に問題を認識できます。また、ビジネスに重大な影響を与える可能性がある、本番環境のアプリケーションのクラッシュや停止などの問題に関する根本原因を診断できます。さらに、Composite Application Manager が、高度な複合アプリケーション・パフォーマンス管理を提供します。これは、サービス指向アーキテクチャ (SOA) をサポートするサービスをデプロイする場合に役立ちます。

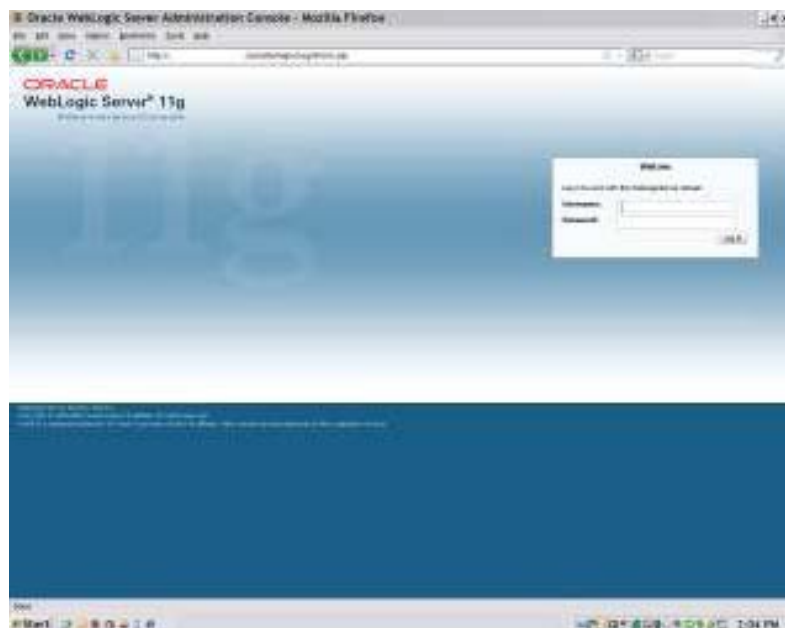


図 1. Oracle WebLogic Server 11g 管理コンソールのログイン画面

豊富なエンタープライズ・アプリケーション

多くの顧客は、最適な Web アプリケーションと従来のデスクトップ・アプリケーションを組み合わせたり、リッチ・エンタープライズ・アプリケーション (REA) を配置しています。Asynchronous JavaScript and XML (AJAX) は、高いユーザビリティと忠実度を必要とするクライアント・アプリケーションを実現する一般的なテクノロジーです。サーバー側には、Oracle WebLogic Server Enterprise Edition に Oracle WebCache、および REA と非同期に通信できる HTTP パブリッシュ・サブスクライブ・サーバーが含まれています。これによって、ユーザーがブラウザまたは Web アプリケーションをリフレッシュすることなく、サーバーからクライアントに情報の更新を提供できます。Oracle WebCache は、HTML および XML 通信量を最適化し、圧縮して、低帯域幅ネットワーク上でもパフォーマンスを大幅に向上させます。ストリーミング・データは高性能の Java Message Service (JMS) メッセージング・キューからサーバー上で取得でき、HTTP 上で HTML を通して、デスクトップ・アプリケーションと同様またはそれ以上のユーザー・エクスペリエンスで、クライアント Web アプリケーションに送信できます。しかもデスクトップ・アプリケーションのインストールや更新の問題、ネットワークのパフォーマンスへの悪影響がありません。

ツール

サービスやアプリケーション、REA の構築が非常に簡単になります。Oracle WebLogic Server は、包括的な Oracle JDeveloper 統合開発環境 (IDE) をサポートし、IDE は、宣言的なモデル駆動型の開発プロセスをサポートします。迅速な構築を実現し、ユーザーがニーズに合わせてデプロイ済みアプリケーションを変更できるようにします。また、Oracle Enterprise Pack for Eclipse もサポートされています。開発者は、適切なツールの使用を選択し、多数の利用可能な Eclipse プラグインにアクセスできます。

Oracle TopLink は、WebLogic Server Enterprise Edition でオブジェクト・リレーショナル・マッピング (ORM) 機能を提供します。データベースに保存された情報を Java アプリケーションが使用できるように変換することは、ほとんどのエンタープライズ・アプリケーションに不可欠です。Oracle TopLink は、データ整合性と高性能を提供し、データの信頼性の高さを確実に維持します。

簡素化された開発の機能と利点	
Java EE 5/EJB 3.0	EJBテクノロジーを大幅に改良した開発のしやすさに焦点を当てた最新の仕様を特徴とします。
FastSwap	アプリケーション開発の効率性を向上するために開発-配置-デバッグ・サイクルで費やされる時間を削減します。
Oracle TopLink / JPA	重要なオブジェクトをデータ・ストアへ保存し、取得する効率化されたメソッドを提供します。
Oracle JDeveloperと Oracle Application Development Framework (Oracle ADF)	Oracle Fusion Middlewareの主要な開発ツールとフレームワークを活用します。
Spring Framework	オープンソースのSpring Frameworkを使用して、アプリケーションを開発します。Spring管理コンソール拡張機能を使用して、Springアプリケーションを簡単に管理します。
Webサービス標準	SOAをサポートする基本テクノロジーを提供します。.Netとの相互運用性があります。
オープンソースの選択	Struts、Spring Framework、およびほかのオープンソース・プロジェクトなどのオプションを開発者に提供し、ニーズを満たします。

関連製品

Oracle WebLogic Server は、アプリケーション・グリッドのための Java アプリケーション・サーバーです。アプリケーション・インフラストラクチャ・レベルでのリソースの共有、プーリング、および動的な調整を利用した柔軟な IT アプローチです。このアプローチにより、効率が向上し、優れたパフォーマンスとスケラビリティが得られます。ほかの Oracle Fusion Middleware 製品は一体化して、完全な統合機能セットを形成し、さまざまなビジネス・シナリオに対応します。

関連製品

Oracle WebLogic Server Enterprise Edition は、以下の製品を使用して拡張できます。

- Oracle Coherence Enterprise Edition/Grid Edition
- Oracle WebCenter Suite
- Oracle Business Process Management Suite (Oracle BPM Suite)

Oracle Enterprise Pack for Eclipse	Oracleがサポートする、Oracle WebLogic Server用のEclipseプラグイン—ほかのEclipseコミュニティのツール、プラグイン、およびプロジェクト固有の要件に合う製品へのアクセス
------------------------------------	---

サポートされているプラットフォーム

Oracle WebLogic Server Enterprise Edition は、Java Database Connectivity (JDBC) ドライバを使用して、さまざまなデータベースに対して包括的なアプリケーション接続性を提供します。

サポートされている特定のプラットフォームと構成の詳細については、以下のドキュメント・ハブを参照してください。

oracle.com/technology/documentation/index.html.

サポートされているプラットフォーム

ソフトウェア	
オペレーティング・システム (32ビットと64ビットをサポート)	<ul style="list-style-type: none"> • AIX • HP-UX • Linux • Solaris • Windows
データベース	<ul style="list-style-type: none"> • Oracle (およびOracle Real Application Clusters) • IBM DB2 • Microsoft SQL Server • MySQL • Sybase
Webサーバー	<ul style="list-style-type: none"> • Apache • Microsoft IIS • Oracle HTTP Server • Sun Java System Web Server
Java	<ul style="list-style-type: none"> • Java Platform, Standard Edition 6 • Java Platform, Enterprise Edition 5

お問い合わせ

Oracle WebLogic Server Enterprise Edition について、詳しくは oracle.com を参照するか、+1.800.ORACLE1 でオラクルの担当者にお問い合わせください。



Oracle is committed to developing practices and products that help protect the environment

Copyright © 2009, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

本文書は情報提供のみを目的として提供されており、ここに記載される内容は予告なく変更されることがあります。本文書は一切間違いがないことを保証するものではなく、さらに、口述による明示または法律による黙示を問わず、特定の目的に対する商品性もしくは適合性についての黙示的な保証を含み、いかなる他の保証や条件も提供するものではありません。オラクルは本文書に関するいかなる法的責任も明確に否認し、本文書によって直接的または間接的に確立される契約義務はないものとします。本文書はオラクル社の書面による許可を前もって得ることなく、いかなる目的のためにも、電子または印刷を含むいかなる形式や手段によっても再作成または送信することはできません。

Oracle は米国 Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の登録商標です。その他の名称はそれぞれの会社の商標です。0109